〈解答〉

1　1　イ

2　①：最澄　②：空海（両解）

3　①：守護　②：地頭（両解）

4　(1)　ア　(2)　エ

配点　各2点　10点満点

〈解説〉

1　1　聖武天皇は，仏教の力で国を守り，社会の不安を鎮めようとして，諸国に命じて国分寺，国分尼寺を建てさせた。また，743年に総国分寺の東大寺の本尊として大仏をつくる命令を出し，745年から7年あまりかけて752年に完成した。アは大化の改新で飛鳥時代の645年，ウは平安時代の797年，エは白村江の戦いで飛鳥時代の663年である。

2　9世紀初め，遣唐使とともに唐に渡った最澄と空海は，仏教の新しい教えを日本に伝えた。最澄は天台宗を伝え，比叡山（滋賀県・京都府）に延暦寺を建てた。空海は真言宗を伝え，高野山（和歌山県）に金剛峯寺を建てた。これらの仏教は祈とうやまじないによって，この世の幸福が得られると説き，貴族の間に広まった。

3　守護は，1185年に源頼朝が国ごとに置き，軍事・警察を担当させた職で，有力な御家人が任命された。地頭は，諸国の荘園や公領に置き，年貢を集めたり，土地を管理したりした職である。守護大名は，室町時代に，一国を領地として支配した武士で，南北朝の内乱のころから守護が荘園もおさめるようになり，地頭やその土地に住む武士たちを従えるようになった。

4(1)　書院造は，室町時代にあらわれた建築様式で，違い棚，床の間，ふすま，障子などが特色で，現代の和風住宅のもとになった。東求堂は足利義政が建てた，東山文化の代表的な建物である。イは法隆寺，ウは安土桃山時代の障壁画のこと，エは東大寺の正倉院についての説明である。

(2)　惣は，室町時代に名主を中心につくられた農村の自治のしくみで，代表者を選び，重要な問題は寄合を開いて決め，用水路の建設や管理，燃料や飼料をとる森林の利用や管理などについて，村のおきてを定めた。ア座は，鎌倉，室町時代に発達した商工業者などの同業団体である。おもに都市に暮らす商工業者が結成したので，農民のくらしには当てはまらない。イは江戸時代のこと，ウは奈良時代の班田収授法である。